

KENCON COOP JOURNAL

【建コンコープジャーナル】2023年1月17日発行 通巻第119号

No. 119

編集/発行

建設コンサルタンツ協同組合

Japan Consulting Engineers Cooperation

〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル7階

TEL. 03-5956-5598 FAX. 03-5956-5599

URL <http://www.kencon-coop.or.jp>

E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp

PDF版

建設コンサルタンツ協同組合 理事長

山内 一晃

中小企業運営に困難な時代。
1社では解決できない問題を解決する一助に。

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤本 尚伸

単純な価格競争から抜け出し、
組合員同士による高付加価値の仕事の提供を。

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤条 豪史

「戦」という漢字を良いものへと変化させる。
組合員100社以上のゼネラリストとともに。



PDF版

山内一晃理事長ご挨拶	1
藤本尚伸副理事長ご挨拶	2
藤條豪史副理事長ご挨拶	3
組合員名簿	4

建設コンサルタント技術者の心得

建設コンサルタント技術者はその使命と職責を自覚し、社会的地位の向上を図るために、下記の各条を実践する。

一. 人格の形成

知的産業に従事する職業人としての常識と教養を身に付け、さらに敬愛される人格の形成に精進する。

二. 技術力の向上

あらゆる機会に合理性と創造性を追求し、常により高い技術力の修得に努力する。

三. 倫理の徹底

いかなるときも中立的立場を堅持し、秘密を厳守して、クライアントおよび公共に不利益をもたらさない。

四. 公共の福祉増進

建設関連業を通じて、公共の福祉増進に貢献し、地域ひいては国家の繁栄に寄与する。

この「心得」は企業としてのモットーであるべきであると同時に、建設コンサルタント業の社員一人一人の心得るべき事項でもある。社内規定等に採用するとともに、あらゆる機会にこれを表示して、建設コンサルタント技術者の認識と社会的地位向上のために資していただきたいと考えるものである。

「建設コンサルタント技術者の心得」は第6代福岡保理事長の提案で常設の「経営研究会」が設置され、当協同組合のモットーともいふべき標語の検討にかかった。慎重審議を重ね、平成2年3月23日の理事会で制定をみるに至った。

ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 理事長

山内 一晃

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より当協同組合の活動にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

2023年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、世界ではロシアのウクライナ侵略、北朝鮮のミサイル、中国の台湾干渉、日本では円高、物価高騰、安倍元首相の狙撃、大雨・大雪による災害など大変な1年だったと思います。一方、新型コロナ対応はかなり緩和され、経済も回り始め、外国人観光客もかなり来るようになり、通常の生活ができるようになってまいりました。

さて、協同組合の昨年一年を振り返ってみますと、コロナ渦でなかなか身動きが取れない中、事務局の体制を整えZOOMによる講習会を数回にわたり開催させていただきました。時代の様相も変わり、皆様と直接会い、集合形式でのイベントはなかなか難しくなっておりますが、できる限り有益な情報を発信していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、組合各社の皆様には、コロナ渦の中、受注の確保、人員確保、技術継承など問題が山積している状態だと思えます。また「所得拡大促進税制」、「インボイス制度」、国土交通省では「総合評価落札方式における賃上げ実施する企業に対する加点措置」が実施され、岸田首相が経済界に物価上昇率を超える賃金アップをお願いしております。中小企業にとって、会社運営するにあたり困難な時代となって参りました。このような状況ではございますが、協同組合で相互に情報交換し合い、「相互扶助の精神」のもと1社では解決できない問題を解決する一助となればと考えております。

最後になりますが、昨年は当協同組合60年の節目を迎えました。このような時期ですのでイベントは控え、記念誌のみの発行といたしました。これまで組合を支えてくださった組合員の皆様、発刊にあたりご協力いただいた皆様には改めて感謝申し上げます。今後も理事役員一同、組合各社のため、本年も誠心誠意尽力していきます。今後も皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

皆様にはご自愛いただき、会員各社様、社員様、ご家族様にとって、よりよき1年になることをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤本 尚伸



謹んで新年のお慶び申し上げます。
旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて昨年来より、建設業界のみならず経済界全体に「賃上げ」という試みを政府からの要望により求められています。今年はさらに具体的な策を講じる場面や施策を求められる場面に直面する機会が増えると想定しております。当初は当然ながら大企業の動向が注目され、さまざま運用が情報として発信されると思います。ただ、この流れは私たち中小企業も必ず実行に移さなければならない場面が早々に訪れるのではないのでしょうか。

これらを実現するためには、単純な価格競争から抜け出し、個別業務ごとに低価格にならない受注金額を確保できる高付加価値の仕事を提供できるようにするしかないと考えております。そのためにも本組合の存在価値は非常に貴重と捉え、組合員同士がお互いの付加価値を見出し、共同企業体などで高付加価値の仕事を提供できるようにすることが、ひとつの道ではないかと考えます。

また、働き方改革の一環として、時間外労働時間の上限が設けられています。さらには、年5日の年次有給休暇の確実な取得が義務化されています。これらの施策により、一昔前と比べたら圧倒的に「労働時間の減少」となっています。

先述いたしました「賃上げ」と「労働時間の減少」という、それこそ一昔前の考え方からすると相反するものを同時に実行していかなければなりません。また、それができないと、この業界が若者にとって魅力ある業界となりません。ある意味、この無理難題を無理難題と思わず、技術や業界の慣習などをより良い未来に向けて刷新できる絶好のチャンスと捉え、事業展開できるのではないかと考えております。

やはり、そのためにも組合員同士、さまざまな意見交換ができる場があれば、本当に機能できるのではないかと考えております。

まだまだ、終わり切っていないコロナ禍、予断を許さないロシア・ウクライナ情勢、それに伴うエネルギー・原材料の高騰、物価高、日本では人口減少・地球規模ではある意味急激な人口増、などなど、あげればきりが無いほどネガティブキャンペーンは張れそうです。

が、しかし昨年のサッカーワールドカップで飛躍・躍動するサムライブルーたち、今年また新しい感動を届けてくれそうなワールドベースボールクラシックの侍ジャパンたち、いずれも未来ある若者たちです。未来は明るい信じ、彼らと同じように建設業界の若者たちが飛躍・躍動できる年になれるよう尽力することが我々の使命ではないかと心より思っております。

理事のみなさまにおかれましては、本年も変わらぬご指導およびご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

結びに、組合員みなさまのご活躍とご発展を祈念いたしまして、わたくしからの年頭のご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤條 豪史



年頭のご挨拶をもうしあげます

昨年の世相を表す漢字が「戦」、一作年は「金」、一作々年が「密」でした。ということは、本年は明るい世相を反映した漢字となることを信じたいと思います。

昨年の協会活動は創立60周年という節目の年で、無事に会員の皆様のもとへ年末とはなりましたが「60周年記念誌」を届けることができました。若輩者の私にとってこの記念誌を通して編集作業に関われたことは大きな学びのきっかけとなりました。これまでの私はというと、建設コンサルタント業界に一社員として身を置いて、ものづくりの過程の中で設計という立場で携わり、プロフェッショナルエンジニアを目指し日々研鑽していくうちに、いつの間にか会社を経営していくゼネラリストの立場となりました。

ゼネラリストといってもその環境の違いや立場などによって様々なゼネラリストの方々が存在します。ゼネラリストと呼ばれる人は、特定の分野に知識や経験が偏っているのではなく、幅広いスキルや知識を普遍的に備えている点に大きな特徴があると言われていました。私はというと、立場こそゼネラリストとしての資質が問われる環境に身を置っていますが、知識や経験が偏っていることに記念誌の編集を通して気づかされました。

記念誌の発行にあたり、これまでの協会の歴史とそれに携わってこられた諸先輩の活動を振り返ってみて本当のゼネラリストというものを知り、自分に足りないものを見直すきっかけとなりました。

年頭の挨拶文を個人的な思いにふけた文面で書き出すことは適切なものとは思いませんが、組合員100社以上のゼネラリスト集団、これこそが昨年の「戦」という漢字を良いものへと変化させるきっかけとなるものと思っています。一国のゼネラリストの判断によって大きく国際情勢は変化する時代、小さなところから変えていければと思います。

「60周年記念誌」のキャッチフレーズである“共に生き、共に創る明るい未来”、皆様と一緒に創っていければと願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

建設コンサルタント協同組合 組合員名簿

《最新の情報はホームページをご覧ください》

※加入順 ※令和4年12月時点112社

Table with 7 columns: 組合員会社名, 代表者氏名, 会社所在地, 組合加入年月日, 従業員人数. Contains 112 entries of member companies and their details.

 KENCON COOP
JOURNAL

編集／発行



〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル7階

TEL. 03-5956-5598 FAX. 03-5956-5599

URL <http://www.kencon-coop.or.jp>

E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp